

Course number		U-LAS22 20001 SO48					
Course title (and course title in English)		フランス語II A F2108 Intermediate French A		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,WATANABE KIMIKO	
Group		Languages		Field(Classification)			
Language of instruction		Japanese		Old group		Group C	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Thu.3		Target year		2nd year students or above	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>フランス文学</p> <p>本講義では、初級文法の学習を終えた学生が読解できる、17世紀から20世紀のフランス文学作品の文章を集めたアンソロジー『コデックス フランス語講読入門』を講読する。文学作品の名文を自力で読解することで、初級で学んだ発音や文法事項の知識を復習し、定着させる。また、現代フランス語の礎が築かれた17世紀以降の文学作品に関する知識を学び、フランス文学史の入門とする。</p>							
[Course objectives]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書を引き、初級文法の知識を活用しながらフランス語の文章を読解できる。</li> <li>時制、構文を理解したうえで、フランス語の各文を理解し、適切な日本語に訳すことができる。</li> <li>綴り字と発音の関係についての規則を理解し、フランス語の文章を正しく発音できる。</li> <li>フランス文学史に関する基本的な知識を獲得する。</li> </ul>							
[Course schedule and contents]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>受講者の発表を中心とした、講読形式で進めていく。</li> <li>初回の授業では、授業の進め方を説明するとともに、教科書に掲載されている「世界人権宣言」（1948年）の一部分を読み、予習の方法等を示す。</li> <li>第二回から第十四回の通常の授業で読む予定の文章は次の通りである。ただし、授業の進度によっては変更が生じる場合がある。その際は、授業内で指示する。</li> </ul>							
<p>第二回      サンドラール『シベリア横断鉄道』</p> <p>第三回      カミュ『異邦人』</p> <p>第四回      ユゴー『静観詩集』</p> <p>第五回      コンスタン『アドルフ』</p> <p>第六回      ラ・フォンテーヌ「からすときつね」（『寓話』より）</p> <p>第七回      アベ・プレヴォー『マノン・レスコー』</p> <p>第八回      パスカル『パンセ』</p> <p>第九回      ルソー『ジュリー、または新エロイズ』</p> <p>第十回      スタンダール『赤と黒』</p> <p>第十一回   ランボー「谷間に眠る者」</p> <p>第十二回   ゾラ『オ・ボヌール・デ・ダム百貨店』</p>							
<div> <div></div> <div>Continue to フランス語II A F2108(2)</div> </div>							

## フランス語II A F2108(2)

第十三回 セリヌ 『夜の果ての旅』

第十四回 プルースト 『失われた時を求めて』

・第十五回 期末試験

・第十六回 フィードバック フィードバックの方法は別途連絡する。

・受講者は毎回授業範囲を予習することが求められる。単語の意味を調べ、日本語に訳してくること。授業の中で、指名された受講者は、指定された箇所を音読し、日本語に訳す。また文法的事項、語彙に関する質問に答える。発表に対する態度は授業参加点として平常点に含まれる。

・発表の様子から明らかに予習を怠ったと判断される場合は、平常点から減点する。

・前期期間中に二度、小テストを行う。語彙や仏文和訳、発音、文法事項の理解を問うもので、復習に活用すること。

### [Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

### [Evaluation methods and policy]

・平常点40パーセント、期末試験の結果を60パーセントとして算出する。

・平常点とは、出席状況および授業参加点、小テストの結果の合計を指す（出席状況および授業参加点25パーセント、小テストの結果15パーセント）。授業に欠席した場合、その日の平常点は0点となる。

・原則として、4回以上欠席した場合は単位を認定しない。

### [Textbooks]

中央大学仏文学研究室編著 『コデックス フランス語講読入門』（駿河台出版社）ISBN: 9784411013330

### [References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

毎回きちんと授業範囲を予習しておくことが必要である。単語の意味を仏和辞典で調べ、文章を訳し、音読できるようにしておくこと。また、小テストの前には、テスト範囲の文章に関して復習を行うことが必要である。

### [Other information (office hours, etc.)]